

教育研究業績書

2017年05月29日

所属：建築学科

資格：講師

氏名：森本 順子

研究分野	研究内容のキーワード
建築設計, 建築計画	村野藤吾の建築作品に関する研究 (意匠論)
学位	最終学歴
博士 (建築学), 修士 (工学), 学士 (工学)	武庫川女子大学大学院 生活環境学研究科 建築学専攻 博士後期課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 武庫川女子大学 東京センター主催 講演会シリーズ「わが国の近代建築の保存と再生」 企画・運営	2011年6月4日～現在	
2. 一級建築士	2009年3月3日	免許取得
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 一級建築士	2009年3月3日	免許取得
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 慰霊碑デザインコンペティション (千鳥ヶ淵戦没者墓苑内) 佳作	2009年11月24日	独立行政法人平和祈念事業特別基金主催
2. 第30回hiroba作品賞：「暮雪荘」	2005年12月5日	近畿建築士会協議会主催 設計・管理 主担当
3. 1995年度競技設計課題「テンポラリー・ハウジング」入選	1996年5月28日	日本建築学会主催
4. (仮称) 金津創作の森センター施設プロポーザルコンペ デザイン賞	1996年11月24日	福井県金津町主催

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 村野藤吾の建築作品における複曲面に関する研究	単	2014年3月	武庫川女子大学大学院	
3 学術論文				
1. 村野藤吾の建築作品の外形にみられる複曲面の特徴 (査読付)	単	2014年2月	日本建築学会計画系論文集	村野藤吾の4つの建築作品における曲面の構成要素を設計図から調査し、関数のグラフと重ね合わせることで近似し、曲面の断面線の形を数式化する。
2. 村野藤吾の設計研究 (その2) -住宅作品における平面構成-	共	1998年5月	日本建築学会近畿支部研究報告集	森本順子・西村征一郎 (京都工芸繊維大学名誉教授) 平成10年度京都工芸繊維大学大学院修士論文に基づく。村野、森建築事務所の設計図から住宅作品の図面内容を調査し、アプローチ空間や諸室の構成、ゾーンの区分についての変遷や設計手法の分析。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 大阪ビルディング本館の北東角軒部分の保存について	共	2012年9月	日本建築学会2012年大会	森本順子・岡崎甚幸 (教授・建築学科長) 建築アーカイブの事例として大阪ビルディング本

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
2. 村野藤吾の設計研究〈その2〉-住宅作品における平面構成-	共	1998年7月	日本建築学会近畿支部 平成10年度研究発表会	館の北東角軒部分の保存方法と、建物外壁に使用されていたレンガやテラコッタについての調査報告。 森本順子・西村征一郎（京都工芸繊維大学名誉教授） 平成10年度京都工芸繊維大学大学院修士論文に基づく。村野、森事務所の設計図から住宅作品の図面内容を調査し、アプローチ空間や諸室の構成、ゾーンの区分についての変遷や設計手法の分析。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. ペトラ博物館	共	2012年8月～ 2013年8月	JICA(国際協力機構)、 東京文化財研究所	博物館/設計・模型・報告書作成 JICA（国際協力機構）が支援を行っている世界遺産ペトラ（ヨルダン）における博物館の設計。東京文化財研究所との共同企画。
2. パーミヤーン博物館 BAMIYAN MUSEUM & CULTURE CENTER FOR PEOPLE	共	2012年6月～ 2013年12月	ユネスコ、東京文化財 研究所	博物館+カルチャーセンター/設計・模型・報告書作成 ユネスコから委託を受け、東京文化財研究所と共同で企画。世界遺産パーミヤーン（アフガニスタン）における考古学資料等の展示・保管・研究を行う博物館と地域住民に開かれたカルチャーセンターの設計。
3. 武庫川女子大学 トルコ文化研究センター シルクロード建築文化展示室（セラミック室）	共	2011年9月～ 10月		展示室/展示計画 甲子園会館内に開設されたシルクロード建築文化展示室の一室で、イランを中心とした装飾タイルを展示。展示の企画及び、陳列の施工を担当。
4. 新総合資料館(仮称)建設工事基本・実施設計業務に係る公募型設計競技	共	2011年5月～ 6月	京都府 主催	資料館/設計 京都府の新総合資料館（仮称）建設工事に関する設計競技に武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオから設計計画案を応募。資料館の平面計画および計画案の作図を担当。
5. 建築スタジオ・ラウンジ椅子	共	2009年12月～ 2010年2月		家具/図面・原寸模型作成 上甲子園キャンパス・建築スタジオのラウンジの座席増加のため、岡崎教授デザインのひじ掛け付ラウンジチェアの図面と原寸模型の作成を担当。
6. トルコ・バフチェシヒル大学内 日本文化研究センター・茶室	共	2009年10月～ 2010年6月		展示室・茶室/設計・模型制作・現場監理 トルコ・バフチェシヒル大学内に開設された日本文化研究センターの設計。同大学所有のビル1階内部に、床の間のある座敷と展示台の設計及び模型制作、現地での現場監理を担当。
7. 特別養護老人ホーム 力合つくし庵		2005年9月～ 2007年1月	福祉法人三顧会・熊本市 高齢福祉課	福祉施設/設計・現場監理 隣接する老人病院と連携し、ショートステイやデイサービスを併設した特別養護老人ホーム（入所者60名）の実施設計及び現場監理を担当。大阪市立大学・上田博之准教授（元・いるか設計集団）を中心とした設計チームとの共同プロジェクト。
8. 生野南部地区改良事業地区生野東住宅(B1・2地区)新築工事+ガイドライン作成	共	2003年9月～ 2004年12月	大阪市住宅局建設部	集合住宅/設計 大阪市生野南部地区の老朽木造住宅の密集地域における改良住宅（大阪市営住宅）の設計。また建設が予定されている改良住宅について、地区全体の建築ガイドラインの策定。IAO竹田設計との共同プロジェクト。
9. (仮称)東豊中第1団地(その1)D地区 L棟建築工事	共	2002年3月～ 2002年10月	UR都市機構関西支社 建替計画	集合住宅/設計 都市再生機構の東豊中団地の建替え事業。建築家 遠藤剛生を中心としたマスターアーキテクト方式による街づくりが実施され、そのうちの集合住宅1棟の設計を担当。
10. 暮雪荘・新築工事	共	2002年2月～ 2003年6月		個人住宅/第30回hiroba作品賞 設計・現場監理、「住宅建築(2006.12)」掲載 滋賀県比良山系の麓の雑木林に囲まれ、敷地内の樹木の保存をテーマとした木造の戸建住宅。
11. 学園前の家・新築工事	共	2002年10月～ 2004年7月		個人住宅/設計・現場監理 「新建築住宅特集(2005.3)」掲載 奈良・学園前の傾斜地に建つ、季節の歳時による行事を室内外で楽しむことのできる木造の戸建住宅。
12. 生野東地区住宅建設基本整備計画(B1・2地区)	共	2001年11月～ 2003年9月	大阪市住宅局建設部	集合住宅/基本計画・設計 大阪市の密集市街地整備のモデル事業として、国の補助事業である住宅市街地総合整備事業を活用し、住環境の改善と防災性の向上を図るための道路や公園、集合住宅建設の基本計画。IAO竹田設計との共同プロジェクト。
13. 生野南部地区改良事業地区・基本計画	共	2000年8月～ 2002年10月	大阪市住宅局建設部 (都市再生住宅等整備事業)	集合住宅建設のための地区計画/基本計画 大阪市の密集市街地整備のモデル事業として、地元の「まちづくり協議会」と連携して地域参加型ワー

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
14. 志賀町のすまい・新築工事	共	2000年7月～2001年5月	大阪市住宅局建設部	クシヨップ方式を導入し、地域住民との協働で住宅地区改良事業の全体計画を策定。IAO竹田設計との共同プロジェクト。 個人住宅/設計・現場監理 「新建築住宅特集(2002.6)」掲載 農作業を楽しみながら住まう木造の戸建住宅。菜園とのつながりを密接にするための土間空間（食堂＋キッチン）がある。
15. 平野郷地区まちなみガイドライン・モデル案作成	共	2000年1月～2000年3月		戸建住宅の新築・建替モデル設計/計画 国の補助制度「街なみ環境整備事業」を活用した、大阪市のHOPEゾーン事業。歴史的・文化的な地域の特性を活かしたまちづくりのための、建物の外観デザインや色彩等についてのルールを策定。
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 講演会シリーズ「わが国の近代建築の保存と再生」	共	2011年～継続中	武庫川女子大学出版部	記録冊子（第1～7回）の編集 ポスター・新聞広告デザイン 講演会の準備、運営など 本学東京センター主催の近代建築をテーマに掲げた講演会シリーズの開催に伴う準備の他、一切を岡崎甚幸教授の下で担当。
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2009年～現在	日本建築学会